

# 6月議会、一般質疑に立ち積極的に質問要望しました。

6月議会（今年は市長選挙があったため3月議会が暫定予算議会で、6月が本予算の議会となりました。）は6月2日から26日にかけて行われました。

私は一般質疑に立ち、前回の選挙でお約束した一人親家庭支援他以下のような項目で質問、特別委員会第3分科会（産業経済局・教育委員会・港湾空港局・上下水道局）で積極的に質問要望しました。



（一般質疑）

## 1、眠育について（学校における睡眠教育。子どもの睡眠障害、不登校を防ぐ取り組み）

## 2、子どもたちに公平なバス通学支援について

本市の公立の小中学校で校区が広く実際にバス通学をしている学校と児童生徒の数は、小学校が5校で約150名、中学校が7校で約280名です。そのうち学校統合によってバス通学になった小中学生には、定期代もしくはスクールバスの運行費用を教育委員会が全額負担していますが、それ以外の場合は基本的に保護者が交通費を負担しています。

地元の公立小中学校に通うのに地域によって負担に大きく差があり、子どもたちに公平なバス通学支援をすべきではないか尋ねました。教育長の答えはまだ納得のいくものではなくこの件はこれからも引き続き取り組んでいきます。

## 3、一人親家庭支援について

近年家族を取り巻く環境が複雑化し、一人親家庭が増加しています。

特に母子家庭が増加傾向にあり経済的に厳しく、一人で必死に家計を支えながら子育てに追われかなり疲弊した状態の方も多い現状です。誰しも最初から一人親家庭になろうと思ってなかったわけではなく、人生にはまさかがあり、今どんなに幸せな家庭生活を営んでいても、性格の不一致やDV、社会的環境の変化による経済的理由などによる離別、病気や事故による死別もあります。

他の先進国の状況を見ると今後さらに増えることも予想されます。

平成23年の北九州市母子世帯実態調査報告書によると現在一人親家庭の子どもの出現率は、小学校1年生から3年生で14.77%、4年生から6年生で19.57%、中学生は21.79%とのことで、小学校4年生から中学生においては約5人に1人が一人親家庭で育てている状況です。

そのような中で多くの子どもたちは立派に育っていますが、仕事に追われ親がほとんどいない状況の中で育つ子どもたちもいます。

今一般的に乳幼児期に長期にわたって虐待やネグレクト(育児放棄)を受けたことによる愛着障害が増えており、自己肯定感が低い児童生徒も増えています。子どもたちにはもちろん家庭の教育力が大切ですが、だからこそ厳しい一人親家庭を社会で支援して、健やかに子どもが育つよう努めなければならないと思います。

そこで以下のような質問をしました。

質問1、一人親家庭の親と子の相談がしやすく、情報を集約し支援につながる情報を発信する体制づくり(子ども食堂や一人親カフェの新設)について

答1、提案も参考にしながらひとり親通しの交流などを促す取り組みを更に充実させるとともに、これまで以上に、気軽に情報交換などができる場所づくりについて更に検討していく。

質問2、一人親家庭を支援する日常生活支援事業があるが利用される方が限られている。支援

の拡充と今後利用しやすい状況をつくっていくことについて。

答2、「母子家庭等日常生活支援事業」は残業や急病などで一時的に生活援助や保育サービスが必要な時、1時間あたり300円が上限(生活保護世帯や非課税世帯は無料)で支援員さんを派遣する制度(一定の制限あり)で、今後対象世帯へ個別に制度の周知を図るなど更に利用いただけるよう努める。

質問3、本市には生活支援施設が小倉母子寮と八幡母子寮と2ヶ所あるが、制約があり、新しい住まい方として一人親家庭のシェアハウスなどの新しい住宅政策ができないか?

答3、検討すべき課題も多いが、提案をふまえて一人親家庭の孤立化を防ぐ取り組みについても検討していきたい。

予算特別委員2分科会での質問項目

- ・東京ガールズコレクション秋祭りについて
- ・映画のロケ地を活かすとりくみについて
- ・国際大会の誘致促進のとりくみについて
- ・北九州市立大学の更なる国際化について
- ・鷗外旧居の活用について
- ・テーマ性を持たせた空港づくりについて
- ・水道検針の自動化について
- ・おいしい給食について
- 他

市長質疑

- ・小中学校連携について

### ぜひひとり親家庭支援制度をご活用下さい。

- ・能力開発や資格取得は  
**ひとり親家庭自立支援給付金事業**
- ・就職活動や病気やけが、出張などで生活援助が必要な時  
**母子家庭等日常生活支援事業**  
 (父子家庭も利用できます)

**お問い合わせ** 各区役所子ども・家庭相談コーナー  
 若松区は 771-0115

北九州市のホームページでも詳細をご覧ください。



### 事務所を移転しました。

皆様いかがお過ごしでしょうか?私は4月の統一自治体選挙において夫でもあり、市政の諸問題を解決する同志でもある野村陽一前県議会議員を落選させてしまい猛省の日々を過ごしております。これまで一緒の事務所でしたが、とりあえず一人になりましたので以前お借りしていた場所(これまでの向い側和田町バス停近く)へ事務所を移転し心機一転仕事に励んでいます。

この仕事につかせていただき多くの方のご相談をお受けし、寄り添わせていただく中で、つくづく「誰しも人生にはいろいろな時期がある。」と日頃から感じているだけに、いろんな状況を受け入れながら忙しく仕事をさせていただいております。一つ一つの経験をしっかり生かしてこれからも頑張っていく所存です。今後とも何卒ご指導下さいますようよろしくお願い致します。